特定非営利活動法人トラストサルン釧路 2020年(令和２年)度活動報告

トラストサルン釧路は、釧路湿原の自然環境と生態系を保全するため流域内に自然保護地をつくり、生態系の維持と回復、調査研究、普及啓発、提言等の活動をしています。

2020年度は、釧路湿原が国内第一号のラムサール条約登録湿地になって40周年の記念すべき年でしたが、新型コロナ感染症の影響でイベントもなく盛り上がらず、トラストサルン釧路でも恒例の市民行事さえ行えませんでした。それでも会員はじめ多くの方々の変わらぬご支援のもと、自然保護地の取得をはじめ、定款に定めた特定非営利活動を以下のように実施しました。

またこれまでの地道な活動が評価され、地元の釧路信用金庫から「釧路しんきん地域貢献賞」をいただきました。

なお2020年度において、非営利活動以外の活動（収益事業）は行っていません。

１．ナショナルトラスト活動

2020年度は、9件の土地ご寄贈と購入による1カ所で、10カ所合計255,355㎡の新規トラスト地（自然保護地）が成立しました。特に45号地は国立公園区域に接する山林約25haで、これまでに寄贈を受けた土地としては最大面積でした。またその他の土地は小規模ながらも国立公園から外れた南西部の湿地で、キタサンショウウオの生息が推測される湿地もあり、太陽光発電施設など乱開発の歯止めとなることも期待されます。これで当会の保護地は45カ所、合計533ha余りになりました。

２．自然再生の取り組みと保護地の管理

自然林再生のために地元樹種の苗木づくりと植樹を継続して行いました。会員等のボランティア作業により保護地内に316本の植樹、苗畑では苗木約1,900本を管理し、植栽地での下草刈りや防鹿柵の修繕なども行いました。また勝野遺贈金事業も、資金は枯渇しましたが役員のボランティア作業により「勝野記念育苗事業」として苗木約6,300本の管理を継続。橋場植林事業では植栽が見合わせとなりましたが、次年度の再開に向けて準備を進めています。この事業では「小型防鹿ネット」を設置して2016～18年度に28種類、約2,600本を植林し、2020年12月末までに約2,000本の生存を確認しています。

３．会の基盤づくり

会員の高齢化による会員数の自然減が続いているところであり、『湿原の新聞』の配布や、会員による勧誘を行い、会活動の基盤となる会員拡大に継続して努力しました。年度末の会員数は前年からやや減少して195名となりました。湿原保護基金には新たに41件の合計722,000円が集まったほか、運営費への寄付、指定寄付も多数寄せられました。役員については若手理事1名が増員となりました。

４．広報・主張・啓発活動

本年度は市民参加行事が中止となり、会員以外の市民に対する直接の啓発活動はほとんど行えませんでした。会員向けには会報『サルンだより』を4回発行しました。インターネットのホームページで活動を紹介したほか、会の活動歴を紹介する動画を作製し公開しています。釧路建設管理部から、湿原を横断する道道1060号線（通称「コッタロ道路」）の橋の架け替え工事に対する意見を求められたため、現地確認を行った上で、コッタロ道路自体が湿原に与えている影響を考慮するよう意見をまとめました。釧路湿原自然再生協議会では小委員会等への出席は限られましたが、2006年に当会が提出した提案書が見直されたことをきっかけに、協議会内に「重要な生態系を保全するためのプロジェクトチーム」が発足しました。

５．他機関・団体との連携

釧路川水系の魚類の保護を進めている釧路自然保護協会の「魚道づくり」に協力しました。太陽光発

電所の建設により生息地が狭められているキタサンショウウオの保護について、関係者と情報交換を行いました。日本ナショナルトラスト協会の総会資料として会の活動を紹介する動画を作製・提供しました。また富士ゼロックス端数倶楽部の方々が、全国から集まって緑化作業に参加されました。

【ご寄付】
〇企業・団体等より
北海道中小企業家同友会くしろ支部より「苗木代として」2 回⇒緑化事業の指定寄付として受入れ
山梨学院小学校けやきの会より⇒湿原保護基金へ
ＪＡ釧路地区女性協議会、富士ゼロックス端数倶楽部、㈱藤プリント、サルン作業チームより⇒一般会計へ
〇個人より
湿原保護基金への寄付をいただいたほか、一般会計（運営費）への寄付を、Yahoo インターネット募金も含めて多数の方々からいただきました。指定寄付（保護地の位置図作製）も 1 件いただきました。
【助成金等】
〇2019 年度中に受けた森づくり活動に対する助成金（コープさっぽろ未来の森づくり基金）100,000 円を 2020 年度の水源林再生活動に生かしました。
【表彰等】
〇釧路しんきん地域貢献表彰制度に基づく「地域貢献奨励賞」を受賞

2020 年度活動日誌（主なもの）

【2020】

4/1　勝野記念育苗事業、橋場植林事業開始
4/10　サルンだより 128 号発行
4/22　会員管理による植栽地の現況調査（達古武・塘路保護地）
4/30　勝野事業でケヤマハンノキ播種開始
5/3　今季植栽予定地の地拵え開始
5/5　防鹿ネットの補修 6 名
5/6　第 1 回理事会
5/9　ボランティア植林開始（6/6 まで 7 日、延べ 30 名）
5/16　定時監査（持ち回り監査）
5/24　湿原再生の森づくり（中止）
5/27　サルンだより 129 号発行
6/13　植栽地下草刈り開始
6/14　2020 年度通常社員総会（本人出席 10、書面 8、委任 118 名）
6/26　第 2 回理事会
6/27　保護地観察会（雨のため中止）
6/28　NPO を所轄する振興局へ報告書類提出
7/4　会員管理の苗畑除草・剪定作業 8 名
7/17　寄贈希望地現地調査（釧路市大楽毛）
8/1　橋場事業で植栽樹の生存調査
8/17　サルンだより 130 号発行
8/30　釧路川二本松橋（コッタロ道路）の損傷状況現地調査
9/19　秋の植栽準備と地拵え 9 名
10/4　秋のミズナラ植栽 10 名（端数倶楽部の会員 4 名を含む）
10/25　来春のための植栽地地拵え、ネットの補修 11 名
11/1　塘路植栽地のネット補修 9 名
11/15　寄贈希望地の現地確認（標茶町オソツベツ）
11/21　魚道づくり作業に参加協力
11/30　釧路しんきん地域貢献賞授与式

【2021】

1/2　理事事務打ち合わせ（電子メール）
1/17　サルンだより 131 号発行
2/8　理事事務打ち合わせ（電子メール）
2/20　全国ナショナルトラスト大会にて活動動画を発表